

やる気発生装置

高校(3年)	中学(1,2年)			高校入試	
北稜	修学院	高野	近衛	私立	公立前期
1/27~	2/16~	2/18~	2/18~	2/10	2/17
学年末考査	第4回定期テスト	学年末テスト	第4回定期テスト		
1日目	あと20日	あと22日	あと22日	あと14日	あと21日

英語の「わからなさ」から抜け出す希望を

小中学校で学ぶ英単語を厳選してリスト化し、できるだけ覚える負担を減らそうとする案が文科省で検討されているそうです。教育現場でやることを増やすのは熱心でも、なかなか減らそうとはしないのが文科省ですので、英語の苦手な子が増えていることへの目をそむけられない危機意識を感じさせます。実際、ものすごく英語の好きな子もいる一方、不安を抱えつつもなかなか英語の学習に向き合えなくて苦手なままの生徒さんも多いです。耳が痛い人もいるかも知れませんが、これは全国的な現象のようです。その原因として僕が考えられることの1つはやはり「小学校からの英語学習がうまくいってないこと」です。小学校での英語の授業が本格化し、それにつなげる形で中学の英語の教科書が難しくなったのが5年ほど前ですが、そのときの小学校はコロナ禍で手一杯でしたし、算数や国語ほど丁寧に英語を勉強できている小学校は今でもごく一部にとどまるようです。そこでの「わからなさ」が中学以降につきまとっている可能性は、非常に大きいと言えます。

いまの中学生・高校生で英語が苦手な人は、こうやって学校の英語が変わってきたことのある意味犠牲者といってもよく、英語ができないことで自分を責めないでほしいです。ただし、逃げるわけにもいかないのが現実です。大学入試の英語は分量が増えてきて確実に難しくなっていますし、受験直前になって英語が苦手なままでは非常に厳しい状況にならざるを得ません。そこから抜け出す方法はシンプルです。英文の「型」を身につけ、どういう仕組みで英語の文章ができていくのかを徹底的に頭・身体に叩き込むこと。その圧倒的基礎の上に単語や熟語の知識を増やし経験を積むことで、英文を読む正確さも速度も上がっていきます。苦手な人ほど早めに、希望をもって英語を攻略してほしい。そのために少々うるさがられるかも知れませんが、事あるごとに「英語をやろう」と言い続けようと考えています。



① 私の先生は私に My teacher (tells us to...)
 ② 彼は私たちに、すぐに戻つて He (told us to coming...)

日本の英語教育は、いろんな不運や失敗を織り込んできた歴史といえます。英語が苦手な人には、君のせいじゃない、と言いたい。でも、そこから抜け出すためには正しい努力が欠かせません。

当面の教室予定

1/27(火)~1/30(金)
 16:00~22:00

1/31(土)
 16:00~22:00

2/1(日)
 16:00~21:00

※21時以降、教室に生徒が残っていない場合には閉室させていただきます。
 ※天候や各種感染症の状況等により、変更させて頂く場合があります。

明日1/28(水)のテスト

学校/学年	教科
北稜 3	英演/論国文

「英語、何からやればいいのかわからない！」と悩んでいる高2生に伝えたいこと

いよいよ受験生としての自覚が芽生え始めるこの時期、特に多くの人を悩ませるのが「英語」です。日東駒専や産近甲龍といった人気の中堅私大を目指すなら、英語は文字通り「合否を分ける最大のカギ」になります。

でも、安心してください。今から正しいステップで始めれば、まだ十分間に合います。今回は、英語への不安を「自信」に変えるための、高2冬からのロードマップをお伝えします。

1. 残酷な真実：英語は「夏まで」が勝負

まず、厳しいことをお伝えしなければなりません。受験勉強において、「英語は夏休みまでに完成の目処を立てないと、後からの挽回が極めて難しい」という点です。

なぜでしょうか？それは、英語という科目が「習得に時間がかかる積み上げ型」だからです。

秋以降：社会科などの暗記科目や、過去問演習に膨大な時間を取られます。

英語の遅れ：もし夏を過ぎても英語の基礎がガタガタだと、英語に時間を奪われ、他科目の対策まで共倒れになるリスクが高いのです。

逆に言えば、夏までに英語の土台を固めてしまえば、後半戦は一気に有利になります。

2. 「何から始める？」迷ったらこの2点だけ！

「難しい長文を読まなきゃ」と焦る必要はありません。今、あなたが取り組むべきは「単語」と「文法」、この2つに絞ってください。

① 英単語：1語1訳を「即答」できるまで中堅私大の入試において、単語力は武器です。

選び方：学校で配られた単語帳(『ターゲット1900』や『システム英単語』など)で十分です。

やり方：最初から完璧を目指さず、1日50~100語を「見る→日本語を言う」のスピードで何周も繰り返します。1ヶ月で1冊を3周するくらいのペースが理想です。

② 英文法：暗記ではなく「理解」する

文法を「ただのルール」として丸暗記するのは苦痛です。

目標：比較、仮定法、関係代名詞などの主要項目について、「なぜその形になるのか」を自分の言葉で説明できるようにしましょう。

おすすめ：基礎的な講義形式の参考書を1冊選び、薄い問題集でアウトプットを並行してください。

3. 高3の5月まで、英語に「全振り」せよ！

今から高3の5月くらいまでの期間、勉強時間全体の中で英語にどれくらい時間を割くべきか。

結論から言うと、「勉強時間の7割から8割」を英語に使ってください。

「数学や国語もやらなきゃ」と思うかもしれませんが、ぐっところえてください。私大入試において、英語の配点が高く設定されていることは非常に多いです。

平日3時間勉強するなら：2時間~2.5時間は英語。

休日8時間勉強するなら：6時間は英語。

これくらいの勢いで英語を優先させます。「英単語と英文法の基礎が終わった！」と実感できるレベルまで一気に駆け上がることが、精神的な安定にも繋がります。



おわりに：今の「不安」は「やる気」の証

「何から始めていいかわからない」と不安になるのは、あなたが本気で合格したいと考えている証拠です。

日東駒専・産近甲龍の入試問題は、奇をてらった難問よりも「基礎がどれだけ正確に身についているか」を問う良問が多いのが特徴です。つまり、今のうちから単語と文法をコツコツ積み上げた人が、最後には笑います。

まずは今日、手元にある単語帳を1ページ開くことから始めてみませんか？